

令和 7 年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	82	学校名	静岡県立浜北西高等学校	記載者	校長 野澤 博文
------	----	-----	-------------	-----	----------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
ア	確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>「授業に意欲的に取り組んでいる」と答える生徒 85%以上</li> <li>「授業に満足している」と答える生徒 80%以上</li> <li>「授業以外で自主的に学習に取り組んでいる」と答える生徒 70%以上（塾や放課後の補習等も含む）</li> <li>授業で I C T を活用した職員の割合 80%以上</li> </ul>	B	B	<p>授業内容工夫しておられる先生が多い。ICT の活用も先生、生徒ともに活用ができていのように感じる。</p> <p>図書館は、生徒が本に親しみやすいような雰囲気作りに努めており、大いに評価できる。</p> <p>進路指導は、すべてを見ているわけではないが、「時代遅れ感」がある。公立高校の先生方に多い「国立至上主義」が時代遅れであることをもっと理解しなければならない。私立大学は時代の要請に応える形でさまざまな学部学科等を創っている。私学の早期入試制度や推薦枠を利用すれば自分の偏差値よりかなり上の大学も狙える。この時代の流れをつかめていない進路指導をまだしている先生がいることは残念でならない。進学実績に有力私学の名前が並ぶことが浜北西のブランディングにつながることに気付いていただきたい。令和 8 年度は改善していただきたい。この点をマイナスとする。次年度の校長・副校長・教頭の指導力に期待する。</p> <p>授業外の自主的な学習と読書については急な伸びを期待するのは難しいが、生徒全体の規範（学習に対する意欲的な空気）を友達同士・部活等の仲間同士で楽しみながら生徒のペースで醸成していけるとよい。</p> <p>確かな学力＝授業（教え方×意欲）＋自主学習（知りたい・分かるようになりたい）＋基礎力アップという捉え方をしてみる。</p> <p>生徒自身の意欲や欲求をいかに刺激し、授業改善の効果を十分に発揮させていけるか、また、自分が身に付けたい学力を意識し、その力を得た際の喜びを明確にイメージすることができるかが重要なポイントになると考える。その意味で、職員研修</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「進路実現のための努力をしている」と答える生徒 80%以上</li> <li>新しい大学入試に対応した指導の実施（授業・検定・進路課外等）</li> <li>進路課外等の計画的実施</li> <li>スタディサプリを活用した特進クラスの個別最適学習指導の検証</li> </ul>	A		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>月末読書量統計調査の実施</li> <li>1、2 年生を対象とした読書強化週間の実施</li> <li>年間 7 冊（11 月末 6 冊）以上の生徒 80%以上</li> </ul>	B		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>教科主任会議年間 3 回の実施</li> <li>他教科の評価方法等の情報共有による適正な観点別評価実施に向けた改善推進</li> </ul>	A		

				<p>のテーマⅡ「生徒に主体性を身に付けさせる取り組み」は重要である。一過性のものではなく、継続的に深掘りしていただきたい。</p> <p>校長先生のお話で、全国模試で優秀な成績を収めた生徒がいるとのこと、大学入学に対応した指導が功を奏していると思う。また部活動全てのフォローが行われ、生徒達にやる気を起こさせていることが感じられた。スポーツ、吹奏楽、美術、書道等全てをカバーしている。</p> <p>先生方の指導や情報共有等は密に行っておられると感じる。</p> <p>学力上昇の結果が出ているかという、今ひとつの押し上げる何かが必要かもしれない。</p> <p>先生方の日々の工夫や努力が感じられる。それは探究の時間の支援や行事での接し方に感じ取ることができる。生徒との距離感が良好である。こうした時期こそ、基礎学力を定着させる絶好の機会かと思う。学びの術を御指導いただきたい。</p> <p>学力保障（確かな学力）と成長保障（探究の時間の学びも含まれる）の両立もしくは両者の誘導を図ってくれたら嬉しい。（先生方の負担が大きくなるかもしれない。）</p> <p>やれる事はやっぺらっしやるように感じる。読書にこだわっているのが気になるが、読書をする理由を生徒達に考えさせてあげる機会を与える事で良い気がする。</p>
ア	<p><b>教員の授業力向上</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジ授業一人年間 1 回以上、他教科も含む授業見学 2 回以上の実施</li> <li>・ロイロノート等を使った「効果的な I C T 活用による授業改善」研修の実施</li> </ul>	A	<p>着実に先生方の研修の成果は上がっていると感じる。（先生方が生徒のことを好きだと思っているのが伝わってくる）</p> <p>教員の皆様が工夫して色々挑戦されているので継続してほしい。</p> <p>授業内容に工夫が見られた。</p> <p>I C T を利用した海外高校との交流授業が行われ生徒達の国際感覚が養われている。教科書だけでなく生徒が欲する内容や授業が I C T を利用して行われている。</p> <p>ロイロノートが何か分からない。評価をする際に困るので、年度初めの学校運営協議会で、授業で使う機材などの説明もいただけると幸い。</p>

イ	「時を守り、場を清め、礼を正す」指導と規範意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年初期・中期指導 6 時間以上</li> <li>・「8:25 朝読書開始ができていいる」と答える生徒 80%</li> <li>・学年集会の開催年間 8 回以上、集会時の遅刻 0%</li> <li>・「時間を管理し、家庭学習の開始時間を守ることができた」と答える生徒 80%以上</li> </ul>	B	<p>学校訪問時お会いする生徒がいつも心のこもった挨拶をしてくれる。挨拶ひとつがその人、その学校の品位を決める。浜北西高校の品位が上がっていると感じる。</p> <p>生徒達の表情が明るくフレンドリーな点は高く評価できると思う。</p> <p>よく生徒の通学時に遭遇するが、交通違反を犯すことなく、整然と自転車通学している。学校での社会規範向上の指導がすばらしく、生徒が受け入れていると感じる。</p> <p>生徒アンケートで 80%以上の回答が多いので A 評価とする。校内は伺った際にきれいに保たれているので清掃については評価できる。また挨拶もよくできている。</p> <p>朝読書時間だけは 100%にしていたと感ずるので、A-</p> <p>生徒の自己評価をもとにした評価の限界も感ずるが、そうしたことも含めてキタニシ力の「よりよくなるうとする力」を活性化する取り組みが重要である。</p> <p>ほぼ自転車通学なので、警察から違反切符をきられた数は公表して指標に加えるべき。現時点で 0 ならよいが。この部分を評価するために、あらためてスクール・ポリシーを確認してみると「自己管理能力の育成」がポイントになると思われる。その観点から、学校では相互作用や他者視点に影響を受ける中で自己管理意識が働いていると思われる。学校という場が良い影響を与えているという反面、家庭での自己管理に大きな課題があるという結果が見て取れる。</p> <p>自転車通学の生徒が多い中、車で運転中に危険なことが数回あった。学校周辺から離れたところでの小さな事故等日々注意が必要。</p> <p>懸案の自転車マナーはどうか。通学路や信号・標識・街灯などのインフラは大人が中心となって解決すべき問題かと思う。学校運営協議会のメンバーで協力できることがあれば一緒にやりたい。</p> <p>時や場を清めるとかは奉仕の精神から生まれることがあると思う。ボランティア部とロータリークラブの力を借りていけばまた違った結果になるかもしれない。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「清掃時に自分の役割を果たし、校内美化に努めた」と答える生徒 80%以上</li> <li>・「家庭ごみの持ち帰り、ごみの分別等のルールを守ることができた」と答える生徒 80%以上</li> </ul>	A	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自ら進んで挨拶ができる」「交通ルール・マナーを守る」と答える生徒 90%以上</li> <li>・交通事故件数 20 件未満</li> <li>・学校周辺および通学路の危険個所の調査・確認・周知</li> </ul>	B	

ウ	体系的・探究的なキャリア教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「進路指導を含めたキャリア教育（総合的な探究の時間）が充実している」と答える生徒 90%以上</li> </ul>	A	A	<p>探究の時間は本当に素晴らしい。</p> <p>探究の時間への先生方の取り組みが着実に生徒の考え方に伝わっていると感じる。</p> <p>探究授業に出席し、生徒達とディスカッションを行い、生徒達が自分の進むべき道を考えていることが分かった。</p> <p>スクール・ミッションにある「国際理解教育」「DX 教育」「地域連携」「探究的な活動」などが積極的に実施され、一定の成果を得ていると思う。外部要因に影響を受ける部分も少なくないと思うが、地道に継続して行ってほしい。</p> <p>何がしか尖った取り組みも含めて検証し、学校・生徒・地域が共通して誇れるものとなるよう展開して行ってほしい。</p> <p>総合的な探究の時間については高く評価したいが、進学指導についての疑問があるのでA-とした。一度私学の進路指導を見学にいかれるとよいと思う。</p> <p>探究授業を行う場合、その日一回だけでは内容があるディスカッションは難しいので、時間があれば何回か話し合いを行うとよい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業前アンケートで「決定した進路先に満足している」と答える生徒 90%以上</li> </ul>	A		
エ	国際理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランチ交流会を 3 回以上実施</li> <li>・浜北国際交流協会との連携</li> </ul>	A	A	<p>素晴らしい取り組みだと思う。</p> <p>この時代、国際理解はとても重要である。浜北国際交流協会との交流はもちろんよいし、タイシリントン高校との交流もよいが、基本的な世界の動き、民主主義の危機や安全保障、危機管理などについての問題意識を醸成する機会の創出が必要と感じるので、少し厳しいが、今のままで満足安住せず、世界のスピード感に対応できるよう、もっと頑張りたいという意味でBとする。</p> <p>今年度はタイからの短期留学がなく、夏休みに計画したタイ訪問がタイ、カンボジア戦争が起り 12 月に延期したが、戦争が終結せず、中止となった。日本にいれば戦争は言葉だけで感じるものだが、今回生徒達は本当の戦争を感じたと思う。</p> <p>交流協会やタイとの交流研修等他機関との連携は大変で手間がかかるが、今後も続けて欲しい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 2 回タイ研修を実施</li> </ul>	A		

オ	大学や企業・地域・保護者等との連携や協働活動、貢献活動 (探究の時間を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県大会出場 10 部活以上</li> <li>・ 1 部活 1 地域交流活動 (地域貢献活動・協働・連携等) の周知と実施</li> <li>・ 校内への普及体制 (窓口) の確立</li> </ul>	B	B  学校情報を発信し、保護者をはじめとした関係者とのコミュニケーションを活性化しようとする動きが確認できる。更に充実させてほしい。 浜北西高校のインスタグラムをフォローしている。非常に内容が豊富で、学校で行われていることが理解できる。個人的には吹奏楽が好きなものでよく見ている。 生徒達が国際関係に興味を持ち、そのような団体にコンタクトし、いろいろ情報を入手している。私が属している浜北国際交流協会も窓口を開けなければと考えている。団体には海外で仕事をしてきた人たちが多くおり、いろいろな経験をお話できる。 地域の大学や企業、保護者達との温かい交流は、浜北西の特徴でもあり、人の力で支えられていると実感する。学校の先生方のアプローチ、関係づくりの良い結果と感じる。 ここ数年、学校外との関わりが増しており、生徒への良い刺激になっていると思う。これも地域の学校としてのひとつの姿かと思う。こうした機会の設定には担当の先生の御尽力があつてのことかと思う。本当に感謝している。こうした取組みの輪が先生方のチームとしての広がりになるといい。 自分が若い頃、様々な人材の話が聞けると嬉しいと感じたので、その機会をさらに増やしていただきたい。スポーツの専門家、事業の経営者、有名な先生など。このまま進んでプラスアルファで足していけば良いカタチになっていくと思う。焦らずこのまま少しずつ進めてほしい。 「探究活動」「キャリア教育」については、もはや本校の特徴ともいえるので高く評価をし、さらなるブラッシュアップを期待する。 防災教育は、やり方が色々あるので我々も含めて地域人材の活用による多様化に取り組むべきと考える。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各委員会の開催年 5 回以上</li> </ul>	A	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域等と連携した防災教育の機会 2 回以上</li> <li>・ 地域防災リーダー育成と防災訓練の見直し</li> <li>・ 家庭や地域との連携による、保護者等の学校行事への理解や参画</li> </ul>	B	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連携したキャリア教育の機会 3 回以上</li> </ul>	A	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連携又は協働した安全教育の機会 1 回以上</li> <li>・ S C (スクールカウンセラー) による相談を年 20 回以上</li> </ul>	A	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 年生の進路を意識した探究活動の構築</li> <li>・ 「行きたい学校づくり」事業を通じた探究活動の 3 年間の流れの検証・見直し</li> <li>・ 学校運営協議会委員や地域の方の参画による探究活動や C S (コミュニティ・スクール) の充実</li> </ul>	A	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員対象 H P 作成研修の実施</li> <li>・ 行事担当や部活動顧問による H P 更新を週 2 回以上 (長期休業中は除く)</li> <li>・ Instagram のフォロワー数 2,500 人超 (令和 7 年 3 月末現在 1,470)</li> </ul>	A	

					<p>このくくりの評価をする中で、大変恐縮だが、問題は部活動への学校経営陣の熱意不足を感じる。特徴ある学校づくりを考えたときに、部活動は大切な特徴となるが、今の本校にはその看板となる部活動がない。これを真剣に考えて、どこを強化するか考えるべきである。多くの卒業生からも厳しい意見をいただいております、不満が渦巻いている。卒業生の応援を求めてゆくためにも、強化部活を決めて戦略的な強化が必要である。これは、同窓会、後援会にも相談してプロジェクトチームを作ってもいい位だと感じている。</p>
カ	業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年・分掌、運営委員会等で意見の集約を図り、改善案を提示</li> </ul>	A	A	<p>業務改善意識を持って取り組み、着実に成果を生んでいると思う。改善のための改善に陥らないよう、教育成果に資するという視点を持って継続していただきたい。</p> <p>業務のDX化がスムーズに業務遂行に取り入れられ、特にペーパーレス化が進んでいると思う（個人的には古い人間なので、紙で残すということが心地よい）。</p> <p>教員の皆様が本当にやるべき事に集中できるように、DX化を推進していて、良い方向に向かっているように見える。</p> <p>先生方の細やかな作業の積み重ねにより結果を出している。</p> <p>学校運営協議会に事務長が毎回出席されるのは有難い。教師から見る生徒の姿以外に、事務室や校務員の人達から見た生徒像も学校運営の参考になることが少なくないと思う。</p> <p>事務室の仕事ぶりや校務員の環境整備の有難さを生徒にも伝える機会があるといい。</p> <p>この業務改善の内容については、学校運営委員に開示されていないように思うので評価不能とする。見落とししていたのなら申し訳ない。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動計画表の作成（年間及び月間）、提出</li> <li>各部活動、年間 80 日以上の休養日の設定を努力義務化</li> </ul>	A		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>Google Workspace 機能の利用促進</li> <li>アンケートの完全ペーパーレス化（QRコードの廃止）80%以上</li> <li>配布物のペーパーレス化に取り組んだ職員の割合 80%以上</li> </ul>	A		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>業務分担の明確化・平準化（業務負担の偏りをできるだけなくす）</li> <li>業務マニュアル（要項、引継書）の作成・改善ができたと答える職員 80%以上</li> <li>校務フォルダの整理の徹底</li> </ul>	A		